

「ランピースキン病」

アジアで感染拡大の
牛のウイルス性疾病
*日本では未発生

Point

国内への侵入リスクが高まっています

ランピースキン病は、ランピースキン病ウイルスによる牛の伝染病。主に、蚊、ハエ、ダニの媒介による機械的伝播や、感染した牛の移動により感染が拡大します。感染した牛は、全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少などの症状を呈し、生産性に影響を及ぼします。

ランピースキン病を疑う症状

- 発熱、鼻汁
- 皮膚の結節
- 泌乳量の低下
- リンパ節の腫大



疑わしい場合は
直ちに連絡！

写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所
(State Central Veterinary Laboratory in Mongolia)

ランピースキン病の侵入防止対策

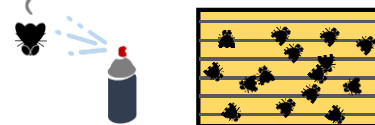
01 毎日の健康観察

早期発見・早期通報が重要。
疑わしい牛は隔離し、牛の導入、
出荷、移動時は健康観察を徹底。



02 害虫の駆除

殺虫剤の散布とともに、
粘着シート等も活用。



03 清掃・消毒

衛生管理区域内の整理整頓を徹底し、飼養管理に使用する器具や畜舎等の施設は清掃と消毒を実施。

京都府中丹家畜保健衛生所 福知山市字半田371-2
☎：0773-25-1860 *休日・夜間は転送されます